

令和4・5年度公共ホール邦楽活性化事業

登録演奏家プロフィール

公共ホール邦楽活性化事業は、市町村等と地域創造が共催し、専門家のサポートの下、邦楽分野でのホールプログラムと、参加体験型の地域交流プログラムを実施することで、創造性豊かな地域づくりを目指す事業です。このたび、厳正なオーディションを経て、令和4・5年度の2年間、本事業で派遣する3名の演奏家が決定致しました。



かわだ けんた
川田 健太 [箏、三絃]

群馬県前橋市出身。7歳より山田流箏曲を、9才より三味線を習いはじめる。古典作品はもちろん、山田流独自の力強いタッチを活かし、ポップスやジャズ、演歌などをフルートやピアノ、ヴォーカルなどとともにジャンルを超えて共演するマルチなアーティストとして活躍している。洗足学園音楽大学現代邦楽コース在学中。第33回国民文化祭・おおいた2018出演。地域音楽コーディネーター（音楽文化創造）。



ふじしげ ななこ
藤重 奈那子 [箏、地歌三絃、十七絃]

大阪府和泉市出身。10歳より箏、12歳より地歌三絃を深海さとみに師事。東京藝術大学音楽部邦楽科生田流箏曲専攻を卒業。卒業時に皇居内桃華楽堂にて御前演奏を務める。現在、同大学の音楽研究科修士課程に在籍中。第18回全国小・中学生箏曲コンクール【小学生の部】銀賞、第2回K邦楽コンクール【現代部門】特別優秀賞(第1位)など多数受賞。宮城社教師。箏曲宮城会、深海邦楽会各会員。



たなはら けんた
棚原 健太 [歌三線]

沖縄県浦添市出身。琉球古典音楽野村流保存会教師。比嘉康春に師事。沖縄県立芸術大学音楽学部琉球芸能専攻琉球古典音楽コース卒業、同大学院琉球古典音楽専修修了。国立劇場おきなわ第四期組踊研修を修了。沖縄タイムス伝統芸能選考会三線の部グランプリを受賞。公益財団法人沖縄県文化振興会文化専門員勤務(H31年度～R3年度)、国立劇場おきなわ主催公演ほか、沖縄県内外での琉球芸能公演等に出演。

- * 事業実施の際は、登録演奏家1名と共演者1～2名の、2～3名のチームで派遣します。
- * 事業の概要については、地域創造 HP→公共ホール邦楽活性化事業ページをご覧ください。

事業ページはこちら↓

